

科目区分	専門分野	授業科目	地域・在宅看護援助論Ⅱ (事例展開)
講師名	前田 こずえ(20) 松下 真理(10)	実務経験の有無	有
単位数(時間)	2単位(30時間)	開講年次	2年次 第1学期～第2学期
授業概要 *講師からのメッセージ	地域・在宅看護論実習Ⅲに行く前に、訪問看護に必要な基本的知識や態度を身につけ、様々な病気を持ちながら地域で暮らしている在宅療養者やその家族に対する看護を具体的事例を通して学ぶ授業です。		
目的：地域で生活しながら療養する人々とその家族を総合的に理解し、在宅看護を展開するための基礎を学ぶ 目標：1. 在宅療養者と家族を総合的に理解するための情報収集の視点が理解できる 2. 在宅療養者と家族の生活上の問題をアセスメントすることができる 3. 在宅療養者と家族の状況に応じた看護が理解できる			
回	授 業 内 容	授 業 方 法	
1	在宅看護に必要な基本的態度とマナー (心構え、服装、身だしなみ、挨拶、態度や行動、距離感等)	講義・演習	
2	在宅看護における看護の展開のポイント、介入時期別の特徴 健康な時期、外来受診期、入院時、在宅療養準備期(退院前)、在宅療養移行期、在宅療養安定期、急性増悪期、終末期(グリーフケア含む)、	講義	
3	退院支援・退院調整から在宅療養へ移行する看護(事例：脳卒中)	講義	
4	長期的な支援が必要な在宅療養者の看護(事例：パーキンソン病)	講義	
5	終末期がんの在宅療養者の看護(事例：膵臓がん、腹膜播種、腹水貯留)	講義	
6	独居で認知症のある在宅療養者の看護(事例：前頭側頭型認知症)	講義	
7	在宅看護における基本的情報収集項目と情報の整理(事例：COPD、肺炎)	講義・演習 (グループワーク)	
8	在宅療養者の身体的・精神的・社会的側面の理解(事例：COPD、肺炎)		
9	在宅療養者を支える家族および社会資源の活用(事例：COPD、肺炎)		
10	在宅療養者と家族の生活上の問題のアセスメント①(事例：COPD、肺炎)		
11	在宅療養者と家族の生活上の問題のアセスメント②(事例：COPD、肺炎)		
12	生活上の問題に対する看護介入①(事例：COPD、肺炎)		
13	生活上の問題に対する看護介入②(事例：COPD、肺炎)		
14	12、13回目の内容をもとに、訪問場面のロールプレイ(事例：COPD、肺炎)	演習	
15(45分)			
16(45分)	終了試験		
評価方法	筆記試験(40%)、演習の課題レポートの提出(50%) 演習への参加状況(10%) 評価基準参照		
テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 医学書院：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践		
備考	第1回、第3～6回は外部講師(訪問看護師)が担当する。 第2回、第7～15回は地域・在宅看護論領域の教員が担当する。		

